

幼保小中高の連携教育

教育長 塩澤 雄一

全都に先駆けた取組み

現在、区では幼稚園、保育園から高等学校まで、連続性を意識した連携教育を推進しています。公立私立を問わず幼稚園・保育園と区内すべての小学校が近隣同士で組織的に教育連携をしています。小学校と中学校はもちろん、中学校と区内都立学校とも連携協定を結び、様々な活動を行っています。これらは、区内でも他に例はありません。

子どもの成長をつなげる

子どもの成長とともに通う園や学校が変わっても、子どもの育ちは途切れることなく連続しています。幼稚園や保育園で学んだこと、身に付けたことは小学校で活かされた上で、新しい力を積みあげていく、それは中学校でも、高校でも同じことです。園や学校の教師が互いに指導の仕方や学習内容を知ること、教育効果をよりあげることが出来ます。

環境の変化は必要

一方、校種が変わることは子どもの成長にとって必要なことです。幼児期から児童期に、児童期から青年期に、発達段階に応じた新しい学校で教育を受けるようになります。そこは子どもたちにとって成長のために乗り越えなければならぬ段階でもあり、新しい環境の中でこれ

「かつしかのきょういく」は年3回発行です。皆様でご覧ください。」

までとは違った意味で力を発揮するチャンスでもあります。

校種を越えて育てる

区内すべての園や学校の教師は、他の校種の授業参観をし、意見交換や情報交換をしています。園児が小学校を訪問し、様々な体験や交流をしています。小学校と中学校では、葛飾スタンダードで学習の仕方を統一し、高校とは、進路指導主任による情報交換、学習教室や部活動交流などを行い、子どもたちの成長をつなげ、子どもに力をつけていきます。

教育委員会の動き

1月から4月の間に、教育委員会の会議が8回開催され、30件の議案を審議し、すべて可決されました。また、43件の報告事項を報告しました。

詳しくは葛飾区ホームページ
<http://www.city.katsushika.lg.jp>
をご覧ください。

教育総務課 ☎(5654) 8449

教育広報アンケートにご協力ありがとうございました

教育委員会では、「かつしかのきょういく」第135号発行にあたり、一部の学校の保護者の方にアンケートをお願いし、384件の回答をいただきました。アンケート結果を踏まえ、よりよい紙面作りに努めてまいります。

教育総務課 ☎(5654) 8449

この広報誌は、印刷用の紙にリサイクルできます。

プラネタリウムと天文展示室がリニューアル

改修中の郷土と天文の博物館のプラネタリウムと天文展示室を、平成30年6月16日(土)にリニューアルオープンします。

プラネタリウム

最新のLED光源やレーザー光源を搭載した投映機を導入し、スクリーン、音響機器、座席も一新。これまでよりもくつろげる空間で、美しくなった星空や映像が楽しめます。

また、プラネタリウムの入口には、これまで使っていたプラネタリウム機器を展示するコーナーを設けます。

天文展示室

展示物を「見る」だけの場所から、様々なイベントの開催が可能になるほか、最新情報に触れられる空間へと変わります。

展示室中央には、ミニ講座やワークショップを行うことができるスペースが誕生します。また、オリジナルの映像や展示を随時更新できるように、何度でも楽しめる展示室になります。

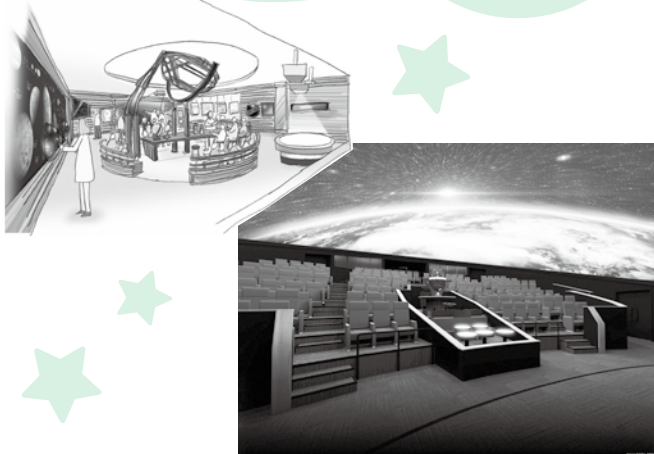
オープンの時間など、詳しくは博物館ウェブサイトをご覧ください。

郷土と天文の博物館 ☎(3838) 1101

平成29年度から読書手帳を配布しています

小学一年生又は、ブックスタート事業、セカンドブック事業対象のお子さんに配布しています。小学生用には、読んだ本の感想やおすすめ度を自分で書き込める欄があり、子ども達の読書へのやる気を応援します。

記録達成したお子さんには、図書館で記念のスタンプを押印し、2冊目を差し上げていきます。ぜひ活用ください。



編集 葛飾区教育委員会事務局
教育総務課 ☎(5654) 8449